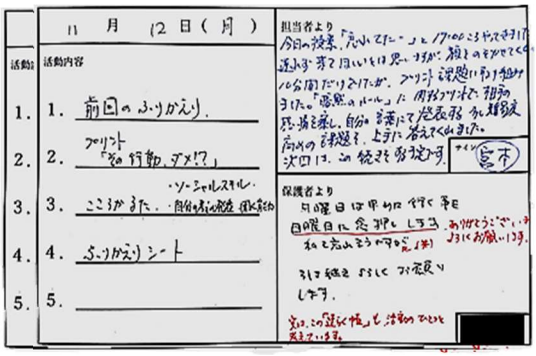
第４０号　Ｒ１．９　「生徒一人ひとりの能力・才能を伸ばす実践研究」推進チーム

# め　綿密な「将来設計基礎ゼミ」と「自己実現ゼミ」実践

## 山口高校定時制の通級指導事例

１・２年次生は「将来設計基礎ゼミ」、３・４年次生は「自己実現ゼミ」と名づけた自立活動を、毎週月曜日の０校時目に設定しています。

当校の特色は、毎時間活動の様子を連絡帳（下参照）に記載し、保護者と生徒の変化や課題を共有する点です。保護者から家庭での情報を受け、「就寝時の携帯電話の使用」など日常的な課題についても家庭と連携して取り組んでいます。


11　月　12日（月）

| 活動 | 活動内容 |
|---|---|
| 1. | 1. 前回のふりかえり. |
| 2. | 2. アリント「その行動、ダメ!?」 |
| 3. | 3. ここからが、・ソーシャルスキル・自分時間の使い方 |
| 4. | 4. ふりかえりシート |
| 5. | 5. |

担当者より
今日の授業、「思いてたーっと」が…ここからやってきた!!
遅れず来て頑張っていたと思いますが、相手のモノをとってくる
10分間だけ行けが、アリント課題に取り組めました。「感覚のルール」に関するアリントで相手
感情を察し、自分の言葉にて発表する。
高めの課題を、上手に答えてくれました。
次回は、この続きを取り組む。
サイン 宮本

保護者より
日曜日は早めに寝て、月曜日に疲れを残さない
ありがとうございます。
私と気ふそうな中なら、(笑)
ようにお願いします。
引き続きよろしくお願い
します。
[redacted]

綿密な見定めと指導に加わることにより、学校生活上の気づきを受けながら、身近な課題を綿密に見定めて指導に当たっています。